

学校で役立つ

山川先生のアイデア通信 ②

「えんぴつが正しく持てない」
「字をうまく書けない」
「書くのにすごく時間がかかる」

こんな悩みをよく聞きます。そんな時に、ちょっとしたことで書きやすく感じる経験をさせたいものです。なぜ、そうなるのかが分かると支援のヒントが出てきます。

こんな支援のグッズがあります

Qリング

Qリングは鉛筆等の持ち方補助具です。鉛筆を握り込んでしまう方、握む行為が苦手な方におすすめします。また強かいはお持ちでない方にも、正しい鉛筆の持ち方を指示する補助員としてご利用頂けます。

- ① Qリングの小さい穴に鉛筆を通します。
- ② Qリングの大きい穴に親指を根元まで通します。
- ③ できあがり。

ファーストウェブに鉛筆があたることで、安定して持つことができます。



えんぴつをギュッと持ってしまう、3本指でにぎってしまうのには理由があります。

きれいな三指持ちになるには、小指側の手の支える力が育ち、親指、人差し指、中指の操作が自由にできません。

支える手をサポートすることでうまく持てます。Qリングは鉛筆をぎゅっとにぎらなくても持ちやすくしてくれます。

その子に応じて、持ち方の意味があり、それをサポートすることで書きやすさを実感してくれます。

